

団体名	プレゼントバンク
-----	----------

## 添付資料1

## 事業計画書

事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決事業 <input type="checkbox"/> 提案型協働事業(継続団体のみ)
事業名称	プレゼントバンクの立ち上げ
事業概要 (300 字以内)	経済的困窮家庭の子どもが“やりたい！”と思った時に生じる道具の購入というハードル。そのハードルを下げるために、成長に伴い使わなくなってプレゼントできるものの提供を地域住民から募り、経済的困窮家庭の子どもや家庭の必要に合わせてプレゼントをする
1 課題解決	
解決を目指す地域課題や社会的課題	<p>「これまで子どもにプレゼントをあげたことがなかった。ずっとほしいと言われていたストライダーをあげられてホッとしている。とても喜んでいる」「中学校に入ったらギターがほしいと言われていた。どう購入するか悩んでいたのでもうただけで助かった」という保護者の声</p> <p>「吹奏楽部に入りたくて入ったが、楽器の購入ができないから打楽器を選んだ」「自転車がなかったので友達と遊びに行けなかった。(からもらえてこれで遊びに行ける)」という子どもたちの声</p> <p>これまでの活動などで出会った声です</p> <p>音楽をしたい！野球をしたい！と。やりたい！と思っても保護者の経済的な事情で諦めてしまう子どもがいます。子どもが取り組みたいことができるように、取り組みたいと思った子どもを目の前に悩む保護者が少なくなるように、地域の人たちからの理解と協力を得ながら支援をし、子どもがやりたいことを実現できる社会、“子どものやりたい”を応援できる地域をつくっていく。</p>
期待される具体的な区民・地域への波及効果	<p>経済的困窮家庭の実情を知り、これまではどう応援をしたら良いかわからなかった人も多くいる。“応援できること”が地域にあることで、応援をしようと思う区民が増えてくる。また参加し、関わることで関心を広げていくことにつながってくる。これらはせたがやサンタプロジェクトの広がりを通じて感じてきました。</p> <p>また一つ、“応援できること”が地域にできることで、その輪が広がっていくことができると思います。</p> <p>また、地域の暖かい応援でやりたいことが実現できた子どもたちが成長し、では今度は応援する側になり、地域に貢献しようと思ってくれるような循環が生まれれば、より活気のある地域になると思います。</p>
実施場所	拠点となる物件を探し中(これまでは三軒茶屋)
事業の対象者・予定人数	経済的困窮家庭の子ども(生活保護・児童扶養手当受給家庭) 現在はせたがやこどもフードパントリーの利用家庭
2 成果目標	
成果目標	<p>150 人の子ども・保護者の利用と物品のプレゼント</p> <p>300 品目の地域からの物品の寄付</p> <p>経済的困窮家庭の子どもが、周囲の同級生たちと比べ劣等感を感じることを防ぐこと。またむしろ、周囲の同級生が経験できない地域の人との出</p>

団体名	プレゼントバンク
-----	----------

	会い、応援される経験を得ること	
成果目標の測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け取った人の数・物の数で計測</li> <li>・提供された人の数・物品の数で計測</li> <li>・地域のイベントなどでの協力(演奏や遊び相手、ボランティア活動)を呼びかけた際の反応で測る</li> </ul>	
<b>3 将来性</b>		
今後の展開 *事業の発展や自立に向けての目標・考え方など	<p>物品のプレゼントに取り組んでいくが、今後は、例えば楽器を受け取った子どもが、地域の人に楽器を教えてもらったり、また、上達をしたら、教える側にまわったり、演奏を発表できたりするような地域との関わりを続けていけるように取り組んでいく</p> <p>会員を募り、会費で拠点となる場所の費用を賄えたらと考えている</p>	
<b>4 実現可能性</b>		
事業実施期間	令和8年7月1日 ~ 令和9年3月31日	
実施内容 (いつ、だれが、どこで、何を、どのように行うのか、実施する内容を具体的にご記載ください)	※補助事業選定後、事業開始から終了までスケジュールをご記入ください。	
	実施月	内 容
	8月～10月	クラウドファンディングの開始
	10月	拠点となる場所の契約
	10月	提供品の呼びかけ・受け取り開始
	11月	必要家庭に情報提供し、渡しを開始
トラブルへの対応 (想定されるリスクとその対処方法)	<p>トラブル:受け取った品物が、壊れていたり、使えなかったり</p> <p>対処法 :事前に説明を丁寧にし、壊れていたりしたら他のもので良いものがないか提案をする</p>	
<b>7 クラウドファンディング</b>		
総事業費	1,440,000 円 ※事業収支計画書【収入】合計・【支出】合計と同額	
補助金目標額	1,200,000 円 ※事業収支計画書【支出】補助対象経費計と同額	
寄附目標金額	800,000 円	
寄附金上限設定額	(設定する場合入力) 円	
実施希望時期 (最大3か月)	令和 8 年 8 月 1 日 ~ 令和 8 年 10 月 31 日	
寄附を募るターゲット層	子育て経験のある大人、10代後半、20代の若者の保護者	
広報活動計画	SNS やプレスリリースに加え、これまでのせたがやサンタプロジェクトの寄付者、商店街の店舗、おやじの会などの地縁ネットワーク	
<b>8 クラウドファンディング</b>		
寄附目標額を達成しなかった場合の対応	<p>小さいレンタル倉庫を借りて事業を開始する</p> <p>受け取り場所と保管場所が別になり人手がかかることに課題がある</p>	

団体名	プレゼントバンク
-----	----------

寄附目標額を超えた場合の対応	物品提供やボランティアを募るためのチャリティイベントの開催や楽器専用の拠点の設置
----------------	--

## 【継続事業のみ入力】

4 前年度成果	
前年度成果目標	※前年度提案書記載内容
前年度成果目標の測定方法	※前年度提案書記載内容
前年度成果目標に対する結果	
5 前年度クラウドファンディング	
前年度寄附目標額 (補助金目標額)	円 (補助金目標額: 円)
前年度寄附金額 (補助金交付額)	円 (補助金交付額: 円)

団体名	プレゼントバンク
-----	----------

**5 協働****【提案型協働事業のみ入力】**

協働する必要性	
役割分担 (提案団体)	
協働事業を継続する理由	
将来の展開	

**【提案型協働事業のみ 区事業担当課入力欄】**

区担当課名	
協働する必要性	
役割分担 (区担当課)	
将来の展開	

団体名	プレゼントバンク
-----	----------

事業収支計画書

☆今回提案する事業に要する予算のみ(×団体の年間予算)を入力してください。

【収入】

費目	内容	金額(円)	内訳(積算根拠)
自己資金		240,000	前年度繰越金
区補助金		1,200,000	
他補助金			
【収入】合計		1,440,000	※事業計画書「総事業費」、【支出】合計と同額

【支出】

☆補助事業以外にかかる経費(他事業に要する人件費・消耗品費、事務所賃借料、光熱水費等)は補助対象外です。必ず、募集要領5. 補助対象経費をご確認の上、ご作成ください。

費目	内容	金額(円)	積算根拠(品目・単価・数量等)	
補助対象経費	人件費	アルバイト代	360,000	1,500円・1人・5時間・週2回・24週・物の受け渡し
		[小計]	360,000	
	報償費			
	[小計]	0		
交通費				
	[小計]	0		
需用費				
	[小計]	0		
役務費				
	[小計]	0		
委託料	ホームページ作成	110,000	デザイン、ドメイン・サーバー代を含む	
	チラシ・フライヤー作成	50,000	デザイン代 A3ポスター、A4チラシ、名刺サイズ カラー	

費目	内容	金額(円)	積算根拠(品目・単価・数量等)	
	[小計]	160,000		
使用料・賃借料	家賃	600,000	倉庫借上料100,000円6ヶ月	
	[小計]	600,000		
その他	光熱費	30,000	5,000円6ヶ月	
	Wi-Fi利用料	30,000	5,000円6ヶ月	
	棚	20,000		
	[小計]	80,000		
[補助対象経費計]		1,200,000	※事業計画書「補助金目標額」と同額	
費目	内容	金額(円)	内訳(積算根拠)	
補助対象外経費	委託料	ホームページ作成	240,000	デザイン、ドメイン・サーバー代などを含む
	[補助対象外経費計]		240,000	
【支出】合計		1,440,000	※事業計画書「総事業費」、【収入】「合計」と同額	

☆必要に応じて、行を増やして作成してください。

団体名	プレゼントバンク
-----	----------

## 添付資料 3 6 実施体制

## 団体の概要

設立年月日 (活動開始)	2026 年 1 月 20 日			
法人番号 (該当団体のみ)				
団体の設立目的	この団体は、子ども、青少年が、経済的な影響を受けず、自分の好きなことややりたいことに取り組めるよう、地域の人との協力によってサポートすることを目的とする			
主な活動分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的困窮支援</li> <li>・子ども・若者への支援</li> </ul>			
社員数・会員数 (うち世田谷区在住)	12 人 (うち世田谷区在住 11 人)			
会費	無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> (年額 3,000 円)			
主な活動地域	世田谷区内			
主な活動実績	<p>令和 5 年 12 月:せたがやサンタプロジェクトとして、世田谷区内の経済的困窮家庭へクリスマスの支援を行った。 1,372,181 円の寄付が集まり、336 人の子どものクリスマスプレゼントの支援として図書カードを配布した。193 個のプレゼントになりうるものを受け取り 49 家庭にプレゼントした。25 家庭にクリスマスケーキをプレゼントした。</p> <p>令和 6 年 12 月:せたがやサンタプロジェクトとして、世田谷区内の経済的困窮家庭へクリスマスの支援を行った。 1,396,582 円の寄付が集まり、323 人の子どものクリスマスプレゼントの支援として図書カードを配布した。161 個のプレゼントになりうるものを受け取り 60 家庭にプレゼントした。</p> <p>令和 7 年 12 月:せたがやサンタプロジェクトとして、世田谷区内の経済的困窮家庭へクリスマスの支援を行った 981,886 円の寄付が集まり、316 人の子どものクリスマスプレゼントの支援としてギフトカードを配布した。160 個のプレゼントになりうるものを受け取り 家庭にプレゼントした</p>			
運営状況(直近 3年間)		2024 年度	2025 年度	2026 年度
	総収入	1,373,528 円	1,971,311 円	1,082,461 円
	総支出	766,190 円	1,871,311 円	715,452 円
	損益	607,338 円	100,000 円	366,929 円
過去のクラウド ファンディング 活用実績	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 有(サイト名: _____、令和 ____ 年 ____ 月 ~ ____ 月実施、 達成額 ____ 円/目標額 ____ 円)			

団体名	プレゼントバンク
-----	----------

当年度の活動 予定	今年度は、プレゼントバンクという団体を立ち上げ、通年で物品を集め、クリスマス以外の誕生日や進級などにも利用してもらえるよう特に力を入れる。クリスマスの支援のせたがやサンタプロジェクトは、プレゼントバンクの一事業として継続して行う予定。
事業実現のため の体制 (人材、連携・協 働関係等)	せたがやこどもフードパントリー実行委員会(経済的困窮家庭への情報発信) HOME/WORK VILLAGE(受け渡し場所の協力) 夢のみずうみ村 新樹苑(物品の一時保管場所としての協力) GRAPEFRUITMOON(楽器の提供の呼びかけ) タタタハウス(物品の提供の呼びかけ・受け取りの協力)

## 令和8年度 世田谷区市民活動支援補助金(せたチャレ!) 質問書兼回答書

※提案書及び見積書の審査にあたり、以下の項目について質問します。

※回答は、**令和8年5月14日(木)午後5時まで**に、電子メールに添付しせたチャレ!事務局あてにご提出ください。

●提出年月日:令和8年5月14日

●団体名:プレゼントバンク

NO	団体名	質問箇所	質問件名	質問内容	団体回答
1	プレゼントバンク	事業計画書 事業の対象者	生活保護受給世帯について	対象世帯に生活保護受給世帯が含まれていますが、プレゼントバンクからプレゼントを受け取ることは生活保護上の収入認定において差し障りはないでしょうか。これまでどのように対応されていたか、方針等があればご教示ください。	これまでは、クリスマスプレゼントになりうるもので、もう使わなくなったものを集め、児童扶養手当の受給者を主な対象者として、5円/品で販売するという形にしていました。クリスマスプレゼントの性質上、購入するという形が良いだろうという思いもありました。今後、クリスマスに限らないタイミング(進学や誕生日など)でも渡したり、生活保護受給者にも提供することを考えています。おさがりやバザーの延長線上にあるものと捉えていて、現物支給であれば収入認定に該当しないという所管部署の回答もあり、問題ないと考えています。収入認定等については必要に応じて、所管課と協議をして、対応を検討し続けていきたいと思っています。
2	プレゼントバンク	事業計画書 事業の対象者	物品について	せたがやサンプラザプロジェクト2024報告書では、寄附を図書カードへ替えて図書券を配布されたとの記載がありますが、本事業において図書カード他の金券がプレゼントする物品に含まれる可能性がありますでしょうか。	そのことは予定していません。
3	プレゼントバンク	事業計画書 実施内容	必要家庭への情報提供について	必要家庭への情報提供はどのように行う予定でしょうか。団体としてターゲットとなる層へのネットワーク等をお持ちであれば、どのネットワークを活用して情報提供を行うのか教えてください。また、必要家庭の子供は、プレゼントバンクに集まったプレゼントの中からどれが欲しいかを選ぶことができるのでしょうか。情報提供後、子供のもとにプレゼントが渡るまでの流れ(先着順で渡す、一定の期間希望を承って希望が重なれば抽選等)を教えてください。	これまでせたがやこどもフードパントリーに協力を頂き、せたがやこどもフードパントリーの利用者に情報を届けて、希望される方を募ってきていました。今後、必要に応じて、児童扶養手当を担当する行政の所管部署や学校へも連携できたらと考えています。  これまでは、限定公開ができるインターネットサイトを通じてプレゼントを選んでいただき、引き取り希望日などを入力していただき、その情報をもとに保管場所でピックアップし、受け渡し場所に運び、渡すということをしていました。先着順です。この流れだと、手間が大変でした。今後は、保管場所・受け渡し場所が一体となった場所を用意し、希望される方が来て、あるものから選ぶという流れにできたらと思っています。先着順で渡すイメージです。